

## 西の湖“湖川の街道プロジェクトについて”

安土町商工会

会長 高木 敏弘

### 基本的考え方

西の湖及びその周辺の水路は“安土・八幡の水郷”として昭和30年頃まで生活に欠かすことのできない存在として活用されてきました。

また、京阪神に近く交通にも恵まれた地域にも関わらず乱開発を免れ、美しい自然も多く残っている地域です。ただこうした風景は必ずしも住民自らが大切な財産として残し続けたのではなくどちらかという“残ってしまった風景”ではないかと思っています。

最近の急激な都市開発を見るにつけやはりそうだったのかなと思います。

このような“歴史と自然の調和がとれた風景”を貴重な財産として次世代に残すことは極めて重要で意義ある事と考えています。

西の湖“湖川の街道プロジェクトは、この“歴史と自然の調和のとれた風景”の価値を再発見し、住民の共通認識として定着させ、正しく活用するために新しい広域観光・環境ルートを整備し、来訪者の知的好奇心を満足させる質の高い観光地として全国に発信し、地域の活性化を図ることを目指すものです。

※別添西の湖“湖川の街道プロジェクト全体構想図”参照下さい。

～安土城外堀から八幡堀～

このプロジェクトは安土町と近江八幡市の合併前に安土町商工会より提案されたものです。

合併が実現した今はこの構想の実現に向けて検討を進めて頂きたいと思えます。

新たな観光ルートを整備するに当たっては、西の湖周遊道路の整備に加えて、西の湖周辺の掘割や水路を湖川の街道として整備し、『西の湖横断ルート』を新たに開設し、コロナ以降の観光の在り様とニーズを把握し各種施策を実施する事が必要であると考えます。

### 今後の観光の在り様について

行動：集団行動 → 個別行動

目的：受け身的な見学 → 趣味や知的好奇心を満たす体験・体感

### 西の湖の魅力

○素晴らしい景観

葎の群落と心地良いざわめき、穏やかな波音、四季折々の美しい夕日・・・

○これらの風景が京阪神の都市部からおよそ1時間で味わえる立地の良さ

## 西の湖の整備の方向性

### ① “居心地”の良さを体感できる“空間整備”

デジタル社会に疲れた人が、本来アナログである本性との歪みを癒しに来る空間  
これが西の湖の最大の魅力であり、この魅力は今後一層人々を引き付ける魅力になると考えています。

今後の施策の立案についてはこのような西の湖の魅力と在り様を活かした施策を立案する事が重要だと考えています。

### ②西の湖の新しい活用方法の研究

次の社会のキーセンテンス「カーボンニュートラル」と「SDGs」の社会実験を行う特区認定を受けて事業の実施

※具体性の少ない提案で申し訳ございませんがご検討の程よろしく申し上げます。